

# 恵方の方角

2021.2.2

渡邊 俊夫

# 恵方

陰陽道で、その年の福德を司る歳徳神の存する方角を**恵方**という。節分の日、恵方を向いて太巻き寿司(恵方巻)を無言で食すると縁起が良いとされる。

恵方は、その年の十干によって次のように決まる。一般には16方位で表示されることが多いが、本来は24方位での方角なので、両者の間には7.5°の違いがある。

年の十干	西暦年の 下1桁	恵方	方位角	16方位 (通称)
甲(きのえ)・己(つちのと)	4・9	甲	75° (2時半)	東北東
乙(きのと)・庚(かのえ)	5・0	庚	255° (8時半)	西南西
丙(ひのえ)・辛(かのと)	6・1	丙	165° (5時半)	南南東
丁(ひのと)・壬(みずのえ)	7・2	壬	345° (11時半)	北北西
戊(つちのえ)・癸(みずのと)	8・3	丙	165° (5時半)	南南東

# 24方位

黒字は十二支  
赤字は十干(戊、己は除く)  
青字は八卦(兌、離、震、坎は除く)  
に基づく方位

xxx7, xxx2年の恵方

壬

子

癸

丑

亥

(けん、いぬい)乾

艮(ごん、うしとら)

戌

寅

辛

甲

xxx4, xxx9年の恵方

酉

卯

xxx5, xxx0年の恵方

庚

乙

申

辰

(こん、ひつじさる)坤

巽(そん、たつみ)

未

丁

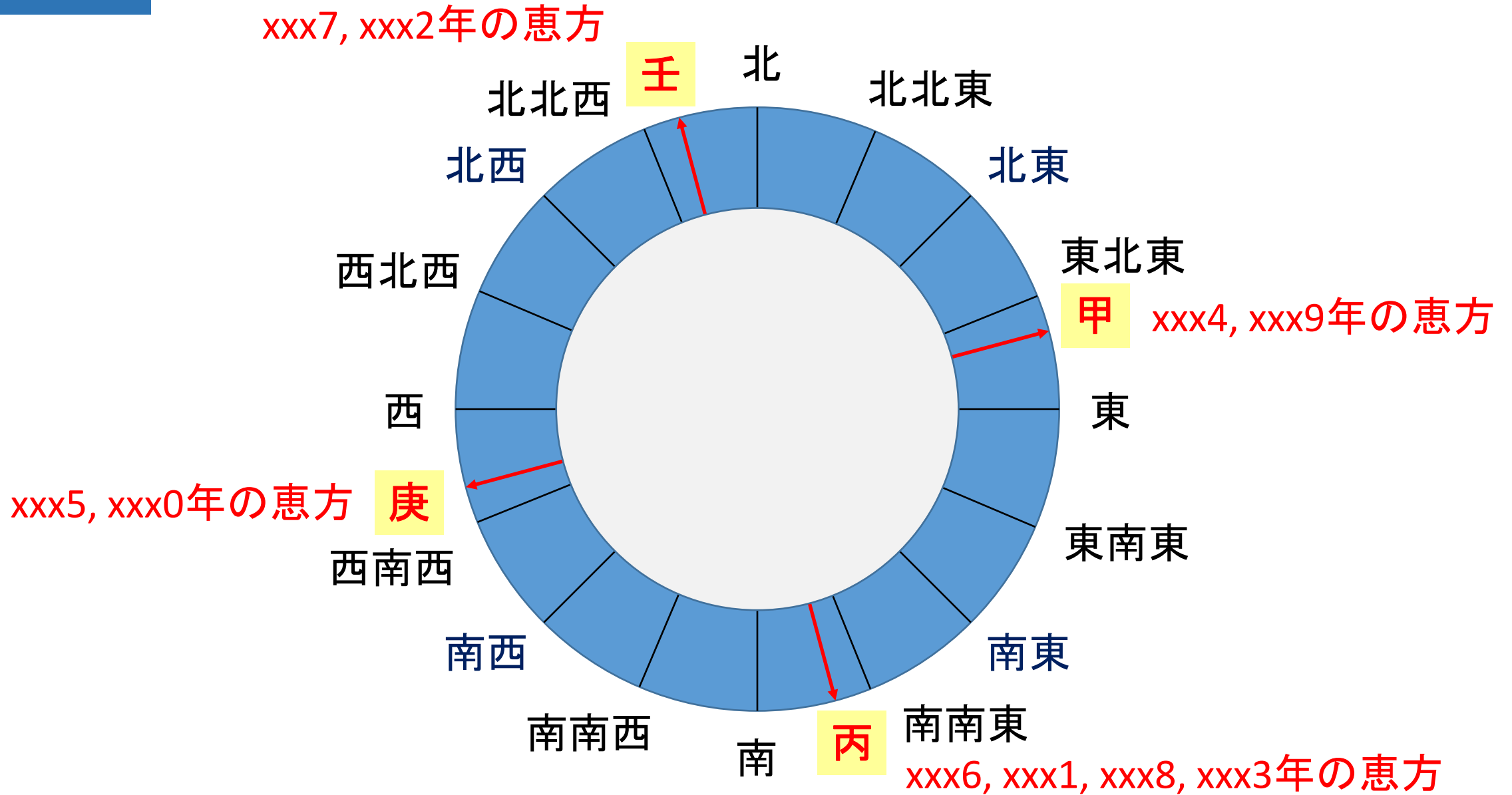
午

丙

巳

xxx6, xxx1, xxx8, xxx3年の恵方

# 16方位



## 16方位と24方位のずれ

16方位で表示された恵方と、本来の24方位での恵方とは $7.5^\circ$  ( $= \pi/24$  rad) 違っている。

もし、恵方の効果が本来の方向となす角  $\theta$  の余弦の2乗で決まるとするならば、

$$\begin{aligned}\cos^2 7.5^\circ &= \cos^2 \frac{15^\circ}{2} = \frac{1}{2} (1 + \cos 15^\circ) = \frac{1}{2} (1 + \cos(45^\circ - 30^\circ)) \\ &= \frac{1}{2} (1 + \cos 45^\circ \cos 30^\circ + \sin 45^\circ \sin 30^\circ) \\ &= \frac{1}{2} \left( 1 + \frac{\sqrt{2}}{2} \cdot \frac{1}{2} + \frac{\sqrt{2}}{2} \cdot \frac{\sqrt{3}}{2} \right) = \frac{4 + \sqrt{2} + \sqrt{6}}{8} \\ &= 0.9829629 \dots\end{aligned}$$

であるから、16方位で表示された恵方では約1.7% 効果が減ってしまうことになる。